

令和6年度おおだて未来づくりプランの取組状況

1 趣旨

本市の総合計画である「おおだて未来づくりプラン」における、中長期的な視点から定めた目標値(活動指標・成果指標)について、令和6年度の目標値に対する実績値等を示すもの。

2 短期的な重点取り組みとしての分野別戦略

分野別戦略1 命を守り育む 暮らしづくり

子育て支援や健康づくり、福祉分野、コミュニティに関する施策を分類

分野別戦略2 子ども・おとなが共に学び合う ひとづくり

教育、生涯学習、地域文化に関する施策を分類

分野別戦略3 力強くひと・ものが行き交う なりわいづくり

農業、林業の振興や、商工業に関する施策を分類

分野別戦略4 未来を見据えた国内・世界への 架け橋づくり

観光業の振興や交流人口の拡大、定住促進、スポーツに関する施策を分類

分野別戦略5 住みやすく災害に強い まちづくり

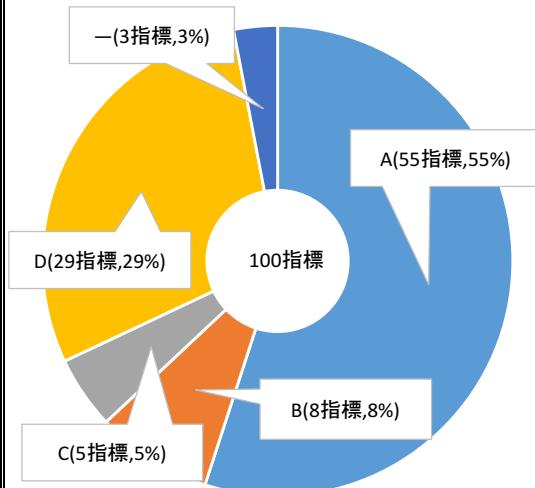
各種インフラ整備や空き家対策、環境分野、防災に関する施策を分類

行財政改革 暮らしとまちを次代へ導くまちのかたちづくり

行政事務の効率化やデジタル化に関する施策を分類

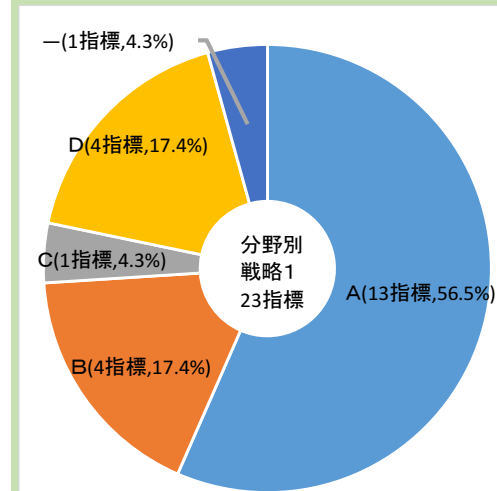
3 目標値の達成状況(総合評価)

目標値100指標のうち、概ね達成以上(A及びB)の割合は63%、ある程度達成以下(C、D及び「—」)の割合は37%であった。



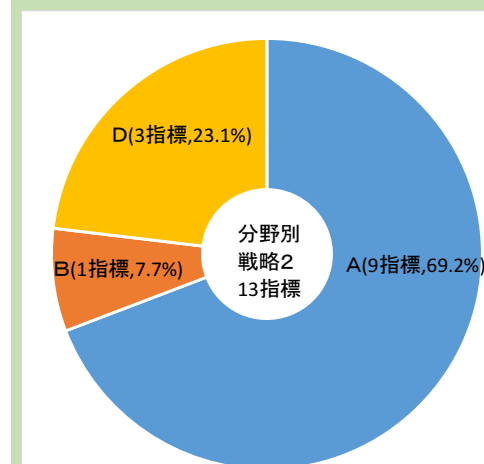
4 6つの分野別戦略及び行財政運営の指針ごとの主な目標値の達成状況及び今後の方向性等

分野別戦略1 命を守り育む 暮らしづくり



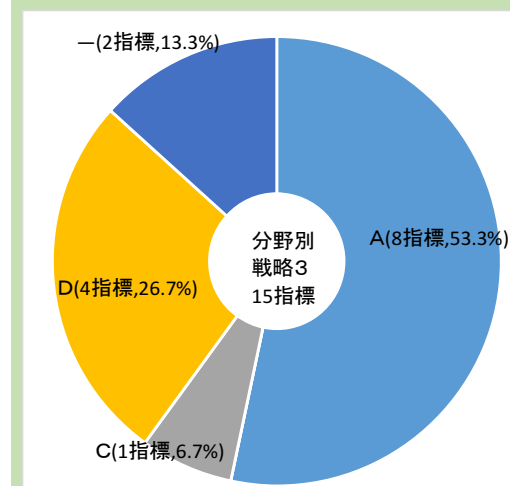
○おおむね達成以上(73.9%)
・結婚新生活スタートアップ支援事業
(R6目標値:23件、実績値:42件)
・市外からの救急車受け入れ数
(R6目標値:144件、実績値168件) 等
○ある程度達成以下(26.0%)
・健康高齢者割合(65歳以上で要介護認定を受けていない者の割合)
(R6目標値:82.0%、実績値:78.6%)
・認知症サポーター数
(R6目標値:600人、実績値:431人) 等
【取組内容、今後の方向性等】
・窓口でのパンフレット配布や広報での定期的な周知により認知度が高まってきたことが要因と考えられる。
・令和6年4月に地域救命救急センターを開設したことで、北秋田地域の救急医療の拠点病院として今後も同水準の受け入れが見込まれている。
・介護予防の推進や社会参加の機会提供を進めているが、目標の達成には至らなかった。
・養成講座の開催回数は前年度を上回っているものの、受講者数自体は伸び悩んでいる。

分野別戦略2 子ども・おとなが共に学び合う ひとづくり



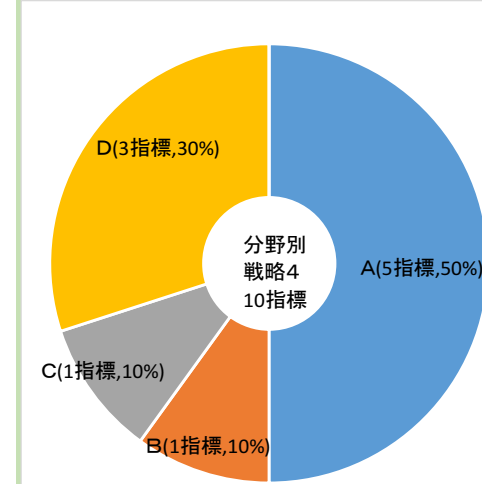
○おおむね達成以上(76.9%)
・子どもハローワーク参加人数
(R6目標値:880人、実績値:1,266人)
・社会人の学び直しの受講者数
(R6目標値:800人、実績値:672人) 等
○ある程度達成以下(23.1%)
・休日の部活動の地域移行部活動
(R6目標値:14件、実績値:4件) 等
【取組内容、今後の方向性等】
・イベント等でのボランティアのほか、企業等の協力により参加者が市内企業を知るきっかけにもなっている。
・社会人向けにさまざまなジャンルの講座を開催し、生涯を通じた学びの機会を提供していく。
・目標未達の要因と考えられる指導者の確保などにより、クラブの立ち上げを支援し参加者の増加を図る。

分野別戦略3 力強くひと・ものが行き交う なりわいづくり



○おおむね達成以上(53.3%)
・新規就農者数
(R6目標値:11人、実績値:13人)
・雇用等創出数
(R6目標値:5,500人、実績値:5,687人) 等
○ある程度達成以下(46.7%)
・園芸作物販売額(主要6品目)
(R6目標値:4億円、実績値:3.4億円)
・再造林率の向上
(R6目標値:38.0%、実績値:27.6%)
【取組内容、今後の方向性等】
・就農や営農計画にかかる相談など、関係機関と協力して対応した。
・条例指定工場の追加及び工場の増設等により、目標の達成につながった。
・天候不順により、アスパラや枝豆、キュウリ、ネギの収量が伸び悩んだことが影響した。
・上昇傾向にはあるものの、収益性や労働力不足が要因と考えられるため、補助制度の活用を促す。

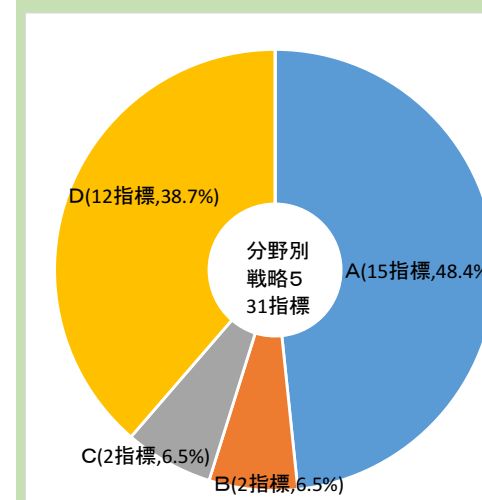
分野別戦略4 未来を見据えた国内・世界への 架け橋づくり



○おおむね達成以上(60.0%)
・1人1回当たりの観光消費額(県外から)
(R6目標値:31千円、実績値:33千円)
・Aターン者数(県移住定住登録制度経由)
(R6目標値:35人、実績値:32人) 等
○ある程度達成以下(40.0%)
・観光入込客数
(R6目標値:220万人、実績値206万人) 等

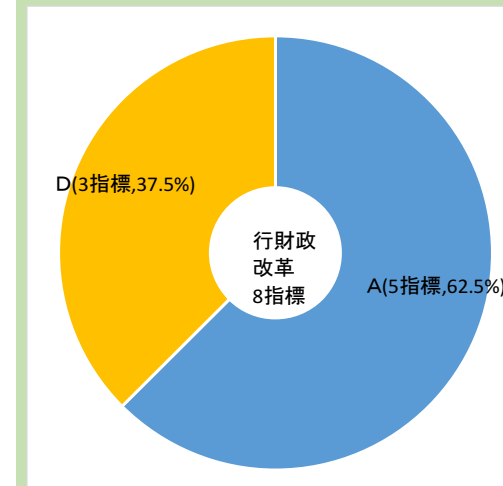
【取組内容、今後の方向性等】
・農泊など体験型観光の増加が要因と考えられることからSNS等による周知方法の強化を行っていく。
・移住相談イベントへの参加のほか、活用できる補助制度の周知を強化していく。
・コロナ禍から順調に回復基調にはあるものの、温泉施設の休止等により目標の達成には至らなかった。

分野別戦略5 住みやすく災害に強い まちづくり



○おおむね達成以上(54.9%)
・包括的民間委託範囲率
(R6目標値:25%、実績値:25%)
・大館市温室効果ガス総排出量の削減
(R6目標値:20%、実績値:19%) 等
○ある程度達成以下(48.2%)
・空き家等解体撤去費補助金利用件数
(R6目標値:28件、実績値:16件) 等
【取組内容、今後の方向性等】
・令和6年度は市内南地域を対象として行い、民間事業者の技術やノウハウを活かして効率的な道路管理を行った。
・電気自動車の導入や再生エネルギーの導入により、目標達成を目指す。
・補助金の周知を行ったが、解体費の高騰や要件を満たすことができず申請に至らないケースが多かった。

行財政改革 暮らしとまちを次代へ導くまちのかたちづくり



○おおむね達成以上(62.5%)
・民間事業者との包括連携協定の締結件数
(R6目標値:6件、実績値:6件)
○ある程度達成以下(37.5%)
・行財政改革プラン進捗率
(R6目標値:80.0%、実績値:79.6%)
・ふるさと納税寄附総額
(R6目標値:13億54万円、実績値:10億113万円) 等
【取組内容、今後の方向性等】
・民間事業者との協働による市政の推進については今後も推進していく。
・未来づくりプランの計画期間とリンクしているもので、行財政改革を推進するため、44項目に細分化して着実に実行していきます。
・ポータルサイトの追加等、寄附額の増加を促す取り組みを行ったが、主力返礼品の米の在庫不足により、寄付金額が伸び悩んだ。今後もふるさと納税の推進を図り、自主財源の確保に努める。

※達成度の目安:A「達成(100%以上)」、B「概ね達成(70%以上)」、C「ある程度達成(50%以上)」、D「未達成(50%未満)」、—「未実施等」

おおだて未来づくりプラン 施策の目標値（活動指標・成果指標） R6 年度

No.	施策	指 標 名	単位	現 状 値		R6		R6年度の取組状況等
				年度		目標値	実績値	
1	1-1	合計特殊出生率	人	H29	1.38	－	1.00	令和6年の出生数は242人（秋田県の人口と人口動態から）となっている。出生数の増加・出生率の改善には、「結婚から出産」という流れを作り出すことが必要との課題分析から若年者婚姻支援事業や結婚新生活スタートアップ支援事業による婚姻支援や「はちくんすくすく子育て支援事業」等を展開し出生数の減少抑制に取り組んできたが、合計特殊出生率の増加に至らなかった。人口の社会減、特に出産年齢期の女性人口の減少に歯止めがかからなかったのも一要因であった。
2	1-1	婚姻数	件	R4	175	169	165	引き続き、あきた結婚支援センター入会登録料助成、プライダルローン利子補給、若年者婚姻支援事業費補助金や結婚新生活スタートアップ支援事業を展開した。目標値には到達しなかったが、これらの施策を着実に実施してことで、婚姻を希望する方々の後押しをしていきたい。
3	1-1	結婚新生活スタートアップ支援事業申請者数	世帯	R4	23	23	42	要件の緩和や、窓口でのパンフレットの配布、広報での定期的な周知、口コミ等により、事業の認知度が高まり、目標値を達成したと考えられる。今後も効果的な周知方法を検討し、引き続き婚姻に伴う経済的負担を軽減し、結婚する方々の後押しをしていく。
4	1-1	病児保育事業施設数	箇所	R5	3	3	4	令和5年度事業を休止していた1施設が、令和6年度より職員の配置が整い、事業を再開したことにより目標値を達成。
5	1-1	放課後児童クラブ待機児童数	人	R5	30	20	22	定員超等のため待機児童が出たが3年生以下の加入を優先して対応した。
6	1-2	健康づくりチャレンジ事業所認定事業所数	事業所	R5	36	40	39	・ブロンズクラス認定として新たに4事業所を認定した。 ・前年度まで認定を受けていた1社が、継続困難により申請を取り消した。 ・永続認定となるプレミアム認定数は、累計22事業所となった。
7	1-2	特定健康診査受診率	%	R4	35.1	36.0	38.2 (R5年度法定報告値)	集団方式・医療機関方式で実施。対象者全員への通知の他、AIによる分析を活用した受診勧奨、その後に電話による勧奨を実施。今後も受診者特性に合わせた効果的な勧奨を継続する。
8	1-2	健康ポイント事業参加者数	人	R4	1,974	2,020	2,210	広報、地元新聞での周知や市内商業施設、医療機関等にポスターを掲示するなど周知に努めたこと、庁内関係部署との連携で参加者が増加した。
9	1-2	推定1日食塩摂取量の平均値	g	R4	9.72	9.22	9.7	減塩推進事業として、各事業において減塩実践の周知啓発を図った。推定1日食塩摂取量が多いかたを対象に減塩リーフレットでの啓発及び「チャレンジTHE減塩講座」を開催し、参加者の行動変容(減塩の実践)へ繋げた。第4次大館市食育推進計画を策定し食育推進の指標の一つに同指標を掲げた事で、関係機関と連携して減塩対策に取り組む体制を整えた。
10	1-2	傾聴ボランティア養成講座修了者数	人	R5	10	11	26	R6年度は募集にあたり未受講者・市内在住等の条件は付さなかった。広報の周知では応募がなく、新聞による周知では、前年2倍以上となる新規38名、再受講者12名の応募があり、うち26名が修了した。
11	1-3	健康高齢者割合（65歳以上人口のうち要介護認定を受けていない者の割合）	%	R4	79.7	82.0	78.6	通いの場の拡大、介護予防の推進、社会参加の機会提供などに取り組んでいる。65歳以上人口の減少に対し認定者数は増加したため、目標値を下回る結果となった。今後も要介護認定率の上昇が見込まれているが、取り組みを継続し各事業の周知拡大に努め健康高齢者割合の維持を図っていく。 R6年度（R7.3） ①65歳以上人口 26,488人 ②介護認定者数 5,665人 ③健康高齢者 20,823人 R5年度（R6.3） ①65歳以上人口 26,766人 ②介護認定者数 5,599人 ③健康高齢者 21,167人
12	1-3	認知症サポーター数	人	R4	330	600	431	養成講座の開催回数は前年度以上となったものの、受講者数そのものが少なかったため目標値に未達となった。今後も引き続き、認知症キャラバンメイトと連携して養成講座開催、周知し、受講者増に取り組む。 開催回数 R5：27回 R6：29回 サポーター数 R5：524人 R6：431人
13	1-3	訪問型生活支援サービス事業（訪問型サービスB）	団体	R4	1	2	2	取組み継続の1団体と新たに1団体が事業を開始し、目標値を達成した。今後も生活支援コーディネーターと連携して各地域の団体に事業実施の働きかけを行う。
14	1-3	障がい者サポーター養成講座等理解・啓発セミナー	人	R5	80	100	156	令和6年8月2日（金）に中央公民館を会場に障がいのある人への理解啓発を目的に開催 参加者72人。「障がい者サポーターとは？」「医療的なケアが必要な子どもについて」の二部構成で実施した。このほか出前講座として、障がい者サポーター養成講座を実施し、4団体84人が受講し、目標は達成し、次年度以降も引き続き「心のバリアフリー推進事業」を進めていく。
15	1-4	まちづくり団体事業費補助金（町内会備品購入事業）	団体	R4	43	71	83	町内会活動等に必要な備品の購入費用を助成することにより、コミュニティ活動の支援を図った。 令和6年度の実績は21件となり、今後も引き続き町内会等の活動を支援していく。
16	1-4	男女共同参画セミナー等の開催回数	回	R4	1	3	2	6/9に秋田県北部男女共同参画センターと共催、12/7に大館市主催で開催した。セミナーの内容の調整や講師の選定に時間を要したため目標回数の開催に至らなかった。 今後は効果的な開催時期や内容、周知方法を計画・検討し、引き続き市民の理解を促していく。
17	1-4	再犯防止推進計画（刑法犯検挙者中の再犯者数）	人	R2	30	27	37	重層的支援体制整備事業により様々な問題を抱える方への支援体制を整えている。また、秋田刑務所における居住支援意見交換会へ参加し関係機関との連携に努めている。 ※左記の実績値は、仙台矯正管区からの情報提供の時期により令和5年度実績を入力

おおだて未来づくりプラン 施策の目標値（活動指標・成果指標） R6 年度

No.	施策	指 標 名	単位	現 状 値		R6		R6年度の取組状況等
				年度		目標値	実績値	
18	1-4	個別避難計画の作成	地区	R4	0	2	5	令和5年度に十二所地区をモデル地区とし、5年度は3名の登録があり、6年度においても町内会等に説明を行い、6名（うち1名 上川沿地区（池内））の登録が完了した。
19	1-5	訪問看護件数（総合病院）	件	R5	-	3,500	2,827	R6年4月から事業を開始し、当初は低調であったが、徐々に増加した。1～3月の1日平均件数は17.8件であり、同様の状態を継続してR7年度は目標達を目指す。
20	1-5	訪問診療、訪問看護件数（扇田病院）	件	R4	2,040	2,040	2,240	体制整備により、目標を上回った。
21	1-5	市外からの救急車受け入れ数	台	R4	135	144	168	R6年4月に北秋田地域の救急医療の拠点病院として、地域救命救急センターを開設した。周辺地域の救急医療体制に大きな変化はなく、来年度以降も同水準の受け入れが継続すると考えられるため、目標の達成は可能である。
22	1-5	レスパイト入院受け入れ人数（総合病院）	人	R4	6	8	56	ケアマネジャーの会合に病院職員が出席し、周知に努めた。来年度も同様の取り組みを続け、目標達成を目指す。
23	1-5	認定看護師数（資格取得者数）及び特定行為研修修了者数（総合病院）	人	R5	11	12	12	R6年度は予定どおり1名増加し、目標を達成した。 R7年度は2名の看護師が特定行為研修を受講する予定であり、目標の達成は可能である。
24	2-1	子どもハローワーク 参加人数	人	R4	860	880	1266	令和6年度の子どもハローワーク参加人数は昨年度より120人増加した。大館うたの国、きりたんぼまつり等大型イベントでのボランティアも行っている。64か所の企業や施設、事業所等の協力も得ている。募集件数も増加傾向にあり、生徒児童が市内の企業を知るきっかけとなっている。
25	2-1	休日の部活動の地域移行部活数	部活	R5	11	14	4	指導者の確保、クラブ立上げが困難であり、参加希望者数も伸びなかった。
26	2-1	電子黒板の年間利用回数（1クラス当たり）	回	R5	50	100	155	ICT活用推進委員会および委員の活動により使用頻度が高まっている。
27	2-1	学校防犯カメラ等の整備	校	R5	6	15	15	国補助が不採択となったが、市単独で事業を実施し、9校（小学校7校、中学校2校）に防犯カメラ等の新設・更新を図った。実績値到達。後年は最終到達目標を見据え分割で実施する。
28	2-2	社会人の学び直しの受講者数	人	R4	288	800	672	中央公民館事業として大館学び大学を開講した。延べ講座数 35回、参加者 436人、学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業 生涯学習講座 72人、活動を広げる取組 103人計 175人 今後も生涯を通じて学び直しの場を提供していきたい。
29	2-2	生涯学習講座受講者数（大学公開講座、達人講座、出前講座）	人	R4	6,500	6,700	6,355	大学公開講座（秋田看護福祉大学132人、秋田職業能力開発短期大学校28人）、達人講座（30講座512人）、出前講座（187件5,683人）健康講座やボッチャ体験など健康や体を動かす講座が人気を集めた。
30	2-2	社会教育講座	講座	R5	0	1	2	「ラジオ体操の基本を学ぼう」、「日本の楽器に親しみましょう」として2講座を実施。目標を達成することができた。
31	2-2	障がい者の生涯学習講座数	講座	R4	6	7	6	7講座のうち1講座が準備の遅れから参加者がおらず中止となり、6講座を実施した。
32	2-3	家庭教育推進事業（おしゃべりひろばひだまり、子育て講座）参加者数	人	R4	1,767	1,850	1,990	ひだまり（288人）、子育て講座（1,702人）。ひだまりの申込方法に電子申請を追加した。
33	2-3	木育事業の回数	回	R4	26	27	27	みんなの木育ひろば（1回）、木育を体験しよう（出前講座 2回）、Let'sGo!木育ひろば（24回）市の祭にあわせて初めて車でイベントを開催した。
34	2-3	デジタル申請による20歳を祝う会の参加率の向上	%	R5	68.0	69.0	76.9	R6よりGoogleフォームを導入し、申請の簡略化を図った。引き続き利用していきたい。
35	2-4	郷土芸能を発表する団体数	回	R4	11	11	15	各種地域祭典・行事に参加した。今後も継続して各種地域祭典・行事に参加したい。
36	2-4	埋蔵文化財の企画展等開催数	回	R5	1	2	2	大館城跡三ノ丸発掘調査現地説明会(6/29) 企画展「大館城跡・金坂遺跡～令和4年度発掘調査成果展～」(9/7～11/4)を開催した。
37	3-1	新規就農者数	人	R4	9	11	13	新規就農に向けた相談、営農計画について、関係機関とタイアップして実施し、目標値を上回ることができた。 新規就農者の家族協定の推進により、夫婦型就農の創出に努めたことも到達要因にあげられる。担い手確保のため、積極的な若い世代の農業への関心度を高めていきたい。
38	3-1	園芸作物販売額（主要6品目）	億円	R4	3.3	4	3.4	重点戦略作物等作付推進事業による支援（山の芋、アスパラ、きゅうり、ネギ、とんぼりの5品目）、とんぼり生産経費高騰対策支援事業による支援（とんぼり）、夢ある園芸産地創造事業による支援（枝豆、ネギ） 8月の天候不順によりアスパラ・枝豆・きゅうり・ネギの収量が減少したことが要因と考えられる。
39	3-1	農地集積率	%	R4	62.1	62.4	57.2	予定していた圃場整備の事業化延期などから、農地集積が進まなかった。法改正やR6年度未で農地集積の対象を見直したことから、集積率ポイントが低下した。
40	3-2	林業・木材産業雇用者数	人	R4	280	281	283	林業大学校研修生の支援、新規就業者の確保や人材育成を目的とした補助制度により人材不足の改善を図った。森林整備分野、木材加工分野共に雇用者数は横ばい状態であるため、補助制度の活用を促し、雇用増加に努める。
41	3-2	再造林率の向上	%	R4	12.3	38.0	27.6	県と連携しての植栽に対する補助（市単嵩上げ補助）を実施し、再造林率の向上を図った。上昇傾向にあるものの、森林所有者の収益性の低さ、事業者の労働力不足が要因と思われるため、雇用増加の取組みと共に更なる効率化・省力化が必要である。
42	3-2	森林認証材供給量	m³	R4	-	5,320	5,716	森林認証林面積の拡大、首都圏のデベロッパー、ビルダーといった川下の企業への認証材の普及活動に取組み、認証材のサプライチェーンを構築した。住宅着工件数の減少やエネルギー価格上昇の影響により木材製品出荷量の減少が続いているが、認証材のポテンシャルは高く、安定需要の獲得に向けた地産地消の取組みと都市部企業等との連携強化に向けた地産外販の取組みを進める。

おおだて未来づくりプラン 施策の目標値（活動指標・成果指標） R6 年度

No.	施策	指 標 名	単位	現 状 値		R6		R6年度の取組状況等
				年度		目標値	実績値	
43	3-2	素材生産量	m	R4	98,991	102,000	106,472	認証材の安定供給への取組みに加え、ウッド・チェンジ補助金による木材需要喚起を促し素材生産量の増加を図った。住宅着工件数の減少などにより川下の木材需要が伸び悩んでいる。デジタル林業などの省力化の取組みと併せて、ウッド・チェンジ補助金などで需要の増加を図り、素材生産量の増加につなげていく。
44	3-3	雇用等創出数（条例指定工場従業員数）	人	R5	5,522	5,500	5,687	①条例指定工場を新たに3件追加 ②工場の新増設により雇用数の拡大
45	3-3	製造品出荷額等	億円	R4	1,541	1,634	1,495	①中小企業者デジタルトランスフォーメーション推進事業による支援 ②国、県、市の設備投資や生産性向上の支援策を活用し、出荷額向上を促進する。
46	3-3	地元食材を活用した新ブランドの創出件数	件	R5	0	1	2	①市内企業による比内地鶏加工品、りんご加工菓子の商品化を支援した。 ②新技術・新商品開発支援補助金要綱を改正し、ふるさと納税返礼品開発事業を設けて、地元食を活用を推進したことで、成果につながった。
47	3-3	資格取得者数及び技能研修受講者数	人	R4	296	300	223	①資格取得支援193人とのづくり力向上支援30人の両事業で、計223人の技能向上を後押しした。 ②目標値に到達できなかったため、各種媒体を活用し周知を徹底するなど、支援者の増加を図りたい。
48	3-4	大館駅インランドデポのコンテナ取扱量	TEU	R5	-	0	0	①事業用地の各種調査、取得を実施 ②実運用に向けた実証事業を実施予定
49	3-4	再エネ利用率（利用面積/対象工業団地総区画面積）	%	R5	-	0.0	0.0	①適用区画候補の調査検討を実施 ②適用区画候補の調査検討を継続実施
50	3-4	DX・GXによる経営革新件数	件	R5	-	2	3	①中小企業者デジタルトランスフォーメーション推進事業のうち、経営革新に取組む事業者3者を支援した。 ②支援制度の周知に努めたことにより、業務効率化を図る事業所を支援し、目標を達成した。
51	3-4	実証実験の実施数	件	R5	-	1	3	①県外スタートアップ企業3件と実施 ②実験結果を継続的に検証する予定
52	4-1	観光入込客数（※宿泊数と日帰り客数、温泉施設入浴数の合計）	万人	R4	180	220	206	①肉博、きりたんぼまつりの開催、修学旅行誘致ほか ②コロナ感染症5類移行により宿泊数は増加したものの、温泉施設の休止等が相次い目標達成に至らなかった。今後の取組み：SNSでの情報発信の強化
53	4-1	1人1回当たりの観光消費額（県外からの宿泊客）	千円	R5	29	31	33	①農家民宿、秋田犬の里への誘客 ②R5はコロナ感染症5類移行により県外旅行者が増加した。今後の取組み：体験型観光への取組み強化
54	4-2	友好都市等交流事業助成金利用件数	件	R4	0	3	0	助成金について相談はあったが、対象事業に合致せず申請に至らなかった。令和5年度に2件の利用実績があるが、団体等の交流事業も希薄になっていることから制度の見直しも必要と考える。令和7年度は1件の申請が予定されている。
55	4-2	ふるさとワーキングホリデー参加者	人	R5	8	10	4	①前年度までの関係人口創出拡大事業で交流がある相模女子大学生など4人が参加した。 ②未達：受け入れ事業者が5社となり未達成となった。今後は参加者のニーズを分析し、目標値の達成を目指す。
56	4-2	Aターン者数（秋田県移住定住登録制度を経た移住者数）	人	R4	22	35	32	①秋田県移住定住登録（秋田暮らし応援事業）に32人の登録があった。 ②未達：移住相談イベント等での相談者や制度を知らない転入予定者に対し、制度の周知方法を検討する。
57	4-3	合宿誘致数	泊	R4	200	300	640	当地での合宿開催を誘致していた北海道ジュニアテニス振興会及びトランポリン協会が合宿を開催したほか、日本体育大学陸上部が約1ヶ月の長期合宿（202泊）を行った。これまでのPRが実績として結びついてきている。
58	4-3	A Iカメラ配信試合数	試合	R5	80	120	150	ニプロハチ公ドームでの野球の配信98試合。タクミアリーナでのバスケットボールの配信52試合。全国から強豪チームが集まり開催されたU-15大館市バスケットボールカップ2025の配信などAIカメラの特性を活かした配信ができた。今後は、配信を断られた大会主催者等への働きかけや、プロチームと連携した競技普及により、配信数の増加を目指す。
59	4-3	スポーツサポーターの登録者数	人	R4	4	50	75	定期的に広報おおだてや地元紙にスポーツサポーター募集広告を掲載したほか、秋田看護福祉大学や職業能力開発短期大学校の生徒へのアプローチを行い、登録者数を確保した。今後も両校のほか、イベント来場者へのアプローチを進めていきたい。
60	4-3	体成分分析装置による測定者数	人	R5	233	400	846	東北電力と連携した測定会の開催など24回の測定の機会をつくり市民の運動の動機付けを図った。
61	4-3	定例ポッチャ交流会「はちくんチャレンジ」の開催	回	R5	3	6	6	市内各地域の体育館で6回開催し、延べ332人のかたにポッチャを体験していただくことができた。
62	5-1	平均地価変動率の改善	%	R5	-6.0	-5.5	-0.6	①桂城公園修景整備、歴史的風致形成建造物保存事業 ②到達（事業成果）、上記事業継続
63	5-1	一人当たりの都市公園面積	m ² /人	R5	16.6	16.8	16.6	①桂城公園修景整備、歴史的風致形成建造物保存事業 ②未達（公園面積増無）、上記事業継続
64	5-2	市道改良率	%	R5	80.3	80.4	80.3	①令和5年度繰越及び令和6年度現年予算にて事業対応した。 ②事業計画に基づいた工事発注を行う。
65	5-2	市道舗装率	%	R5	78.7	78.8	78.7	①令和5年度繰越及び令和6年度現年予算にて事業対応した。 ②事業計画に基づいた工事発注を行う。
66	5-2	包括的民間委託範囲率	%	R5	20.0	25.0	25.0	①大館市道路等包括管理業務（南地域）を開始。 ②大館西地域道路等包括管理業務をプロポーザルで業者選定し決定した。
67	5-3	水道施設耐震化率	%	R5	41.4	68.3	68.3	施設の耐震化は実施していないが、老朽化や経年劣化で処理能力が低下している装置等の更新工事を行った。 今後も施設点検結果に基づき、施設修繕を実施し長寿命化を図っていく。

おおだて未来づくりプラン 施策の目標値（活動指標・成果指標） R6 年度

No.	施策	指 標 名	単位	現 状 値		R6		R6年度の取組状況等
				年度		目標値	実績値	
68	5-3	下水道普及率	%	R5	61.9	63.5	64.1	整備面積A=34.56ha、整備延長L=5.41km
69	5-3	生活排水処理人口普及率（下水道、農業集落排水、浄化槽）	%	R5	80.9	83.1	84.4	目標値は達成できているが人口減少により普及率が低下傾向である。
70	5-3	個人設置型合併処理浄化槽の補助金交付件数	基	R5	40	85	35	実績値の低下は直近の経済情勢で浄化槽設置への経済負担が影響していると思われる。広報等で周知を実施している。
71	5-3	工業用水道施設利用率	%	R4	67.1	70.0	85.4	給水事業者数は29で増減はなかったが、一部事業所の業務拡大等により使用水量が大幅に増加となった。 引き続き、関係機関と情報共有を行い、将来の使用量の増減予測に適切に対応していく。
72	5-4	電子申請	種類	R5	33	34	38	マイナポータルを利用した電子申請（ぴったりサービス）への申請を追加した。
73	5-4	公開型GISの公開	種類	R5	0	0	0	令和8年度以降に導入することで、方針を決定した。
74	5-4	スマホセミナー、移動スマホ教室	回	R5	0	0	34	秋田県へ協力し、大館市内の各公民館、イベント会場にて高齢者向けのスマホ教室を16回場で34回開催し、のべ214人の参加があった。
75	5-4	AIチャットボットの利用者満足度	%	R5	-	60.0	51.9	AIを活用して、住民からの問い合わせ対応を自動応答させるサービスをホームページに導入したことにより、利用者の検索性・利便性が向上した。 実績値は、ユーザーの質問に対して、自動回答により該当HP等へ遷移できた割合（質問総数から「回答が違います」を除いた割合）としたが、目標値には達しなかった。 今後は、AI学習やQAデータの最適化により、更なる精度の向上を図る。
76	5-5	バリアフリー改修の支援	件	R5	0	3	1	広報やホームページの周知に加えて関係団体へのアプローチも行い、問い合わせ自体はある程度あったものの、要件を満たすことが出来ずに申請に繋がらないケースが多く、目標達成には至らなかった。
77	5-5	空家等解体撤去費補助金利用件数	件	R5	8	28	16	補助金の周知に努めたが、解体費の高騰により二の足を踏む相談者や補助要件のハードルの高さから補助要件に合致したものが少なく、目標未達の要因の一つとなっている。更なる周知に努める。
78	5-5	空き家（空き地）対策各種セミナー・無料相談会参加者数	人	R5	300	600	649	チラシ、SNS、ホームページ等で開催の周知に努め、集客を図った。大会の基調講演の依頼が来るよう、関係機関へ周知を図る。
79	5-5	大館市斎場建設事業	件	R5	実施設計	造成建築	造成建築	令和8年度の供用開始に向けて造成建築工事を実施。 進捗率 17.9% 契約額 3,049,750,000 R6出来高 547,768,000
80	5-6	大館市温室効果ガス総排出量の削減	%	R4	15.0	20.0	19.0	エコプラン21に基づき、EVの導入、再エネの利用促進を図る。
81	5-6	ペレットストーブ設置費補助金事業件数	件	R4	91	94	91	H30頃から低調。地球温暖化対策としてバイオマス利用を啓発していく。
82	5-6	リサイクル率	%	R4	10.38	10.38	10.02	温室効果ガス抑制の観点からR2に可燃ごみの熔融スラグ化を停止して以降、10%程度（微減）で推移。
83	5-6	電気自動車等（EV、PHEV、ハイブリットなど）の台数	台	R5	10	10	11	1台（アウトランダー）を購入した。公用車の適正化を図りながら順次更新を行う。
84	5-7	防災訓練等参加者数	人	R5	300	600	800	市役所本庁舎ほかを訓練会場とし、防災関連機関と地域住民による災害発生時の応急対策について訓練し、十分に対応力を向上することができた。 引き続き、応急対策訓練を実施し、対応力の向上を図るとともに、市民の防災意識の高揚を図る。
85	5-7	危険ブロック塀等の撤去への支援	件	R5	2	7	5	広報やホームページで制度周知を図ったが、周知不足のため目標達成には至らなかった。
86	5-7	携帯アプリの登録者数	人	R5	27,000	27,750	38,405	災害情報の迅速かつ効果的な提供を行った。災害情報の関心度は高く、登録者の増加につながっている。 高齢者等に情報格差が生じないよう、伝達手段の多重化を図る。
87	5-7	新規加入消防団員数	人	R4	25	25	34	①令和5年度に続き圏域産業祭に出展し、消防団の活動をアピールした。（基本団員26人・機能別団員8人） ②目標値は到達したが、定年退職を迎える団員数が多く定数を割り込んでいる現状があるため、今後、定数の見直しや処遇改善を進めたい。
88	5-7	リーダー研修参加者・防災士登録者	人	R5	0	15	9	①自主防災組織員9人が防災士養成研修講座を受講し、全員が防災士として登録。 ②今後、自主防災組織の指導的立場にある者を対象としたリーダー研修を企画する。
89	5-8	大館警察署管内刑法犯認知件数（1～12月）	件	R4	131	126	171	関係防犯団体と連携した各地域における防犯活動やLED防犯灯の設置を推進し、犯罪の未然防止に取り組んだ。
90	5-8	通学路防犯灯整備区間数	区間	R5	8	10	8	実施予定区間が長距離であることから整備費用が大きい。予算編成において他事業を優先することにした。次年度は区間内の分割実施も見据え事業を進める。
91	5-8	大館警察署管内交通事故件数（1～12月）	件	R4	98	93	54	市内の大型スーパーにおける街頭広報活動や教育施設における交通安全教室など、関係団体と連携し継続的な活動に取り組んだ。
92	5-8	通話録音装置貸出し台数	台	R4	7	9	5	特殊詐欺被害対策として高齢者への通話録音装置の貸出しや出前講座による消費者教育や広報誌による注意喚起に取り組んだ。

おおだて未来づくりプラン 施策の目標値（活動指標・成果指標） R6 年度

No.	施策	指 標 名	単位	現 状 値		R6		R6年度の取組状況等
				年度		目標値	実績値	
93	6-1	市民満足度（まちづくりの目標平均）	%	R4	61.8	62.0	60.8	第2次新大館市総合計画後期基本計画の最終評価として実施。施策の満足度は「3.04（60.8%）」と前回調査時に比べ-0.05ポイント減少した。満足度に比べ、重要度が3.89と0.07ポイント上昇し、行政サービスが市民の求める水準に達していないことから、今回の結果を踏まえ、事務事業の改善につなげていきたい。
94	6-1	行財政改革プラン進捗率	%	R4	83.3	80	79.6	【行財政運営】 内部統制制度の推進や公文書のペーパーレス化推進、ネーミングライツの導入などにより、質の高い行財政運営につなげることができた。 【広域や官民とのつながり】 連携協定等を結んでいる民間企業との取り組みの強化や包括的民間委託の導入により官民連携の推進を図ることができた。 【DXの推進及びデジタル基盤強化】 キャッシュレス決済の導入やRPAの導入拡大、ビジネスチャットの導入のほか、デジタル人材の育成に向けた研修を実施するなど、DXの推進およびデジタル化を推進する基盤の強化を図った。
95	6-1	ふるさと納税寄付額	百万円	R4	978.2	1305.4	1011.3	ポータルサイト1サイトを導入したほか、既存ポータルサイトのパートナーサイト3サイトでの受付を開始。 企業版ふるさと納税は、5社より計720万円であった。 主力返礼品である米が品薄により在庫確保が困難となったことから寄附が伸び悩み、目標達成に至らなかった。 次年度は、米取扱事業者との連携を図り、米の在庫確保を進めていく。
96	6-2	民間事業者との包括連携協定の締結件数(企画調整課所管包括連携協定件数)	件	R4	6	6	6	令和6年度は民間事業者との新たな協定の締結には至らなかった。 今後も新たな協定によるつながりを模索するとともに、民間が持つ力を行政に生かす取り組みを進めていく。
97	6-3	基幹業務システムの標準化対応	件	R4	-	-(移行)	移行	移行対象の20業務の標準仕様書等の確認及び移行データのクレンジングを実施した。下期には早期移行団体検証を行い、移行に向けた事前検証を行った。
98	6-3	内部情報システムの更新	件	R5	-	-(移行)	移行	令和7年3月17日より、グループウェア、文書・財務会計システムを移行した。人事給与と庶務事務については、令和7年度の稼働とした。
99	6-3	DX研修会開催件数	件	R5	-	-	2	一般職・管理職向けDX推進リーダー研修会を各1回実施。一般（29名）、管理職（15名）の参加があった。
100	6-3	電子契約の割合	%	R5	-	60.0	73.8	10月に電子契約の運用を開始し、登録業者への周知を行った。建設工事・測量コンサルでは、ほとんどの発注案件で電子契約が利用された。実績としては目標値を13.8ポイント上回ることができた。今後は、建設工事・測量コンサルと比較して利用率の低い物品調達・役務提供の利用率向上に努める。